

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	博物館魅力向上事業				シート番号	008-064
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸	課 評価責任者(課長名)
						増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 26 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	博物館法・文化財保護法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	百舌鳥古墳群ガイダンス施設の開設に伴い古代常設展示をリニューアルした「百舌鳥古墳群ガイダンス施設(暫定)設置に伴う博物館リニューアル事業」の完了後、引き続き博物館のリニューアルを継承する事業として実施することになった。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺の魅力発信や観光集客を担う歴史・文化発信の中心施設として、堺市博物館の魅力をより向上させる。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	①常設展示リニューアル わかりやすく興味深い展示内容にするため常設展示をリニューアルする。30年度は常設展示の中世コーナーをリニューアルした。 ②ミュージアムグッズの作製 博物館への来館記念品として、百舌鳥古墳群世界遺産登録PRグッズ等を充実させて販売する。30年度は新規グッズとして、古墳時代の出土品をモチーフに、フィギュア・キーホルダー・マグカップ等6件を作製した。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
10	直接実施以外の主な支出先	委託業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	36,023	39,466	12,087	7,909	3,906	3,904	51,199
	主な事業費内訳								
	委託料	千円	1,033	2,131	10,242	7,244	2,377	2,573	51,000
	工事請負費	千円	0	2,190	0	0	0	0	0
	備品購入費	千円	33,316	33,686	651	616			
	施設等修繕料	千円	1,577	1,339					
	国・府支出金	千円		1,619					
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他(基金繰入金・物品売払収入)	千円	36,007	32,862	12,087	7,001	2,259	1,905	4,500
	一般財源	千円	16	4,985	0	908	1,647	1,999	46,699
12	人件費 (b)	千円	3,280	3,280	3,280	3,280	4,860	3,240	10,660
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	39,303	42,746	15,367	11,189	8,766	7,144	61,859

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	博物館魅力向上事業	シート番号	008-064
-------	-----------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	OICOM(国際博物館会議)京都大会参加 ○新規ミュージアムグッズ作製 ○入館300万人式典実施 ○博物館ボランティア用ユニフォーム作製						
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		ミュージアム・グッズの新規開発	個	目標値	2	6	5	4
				実績値	9	15	9	
				達成率	450%	250%	180%	
	評価			大変良い	大変良い	大変良い		
	算出方法・設定根拠など		既存グッズの追加に加えた新規グッズの開発。目標値は予算額により上下する。					
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		施設利用者の満足度	%	目標値	95	95	95	95
				実績値	81	80	77	
達成率				85%	84%	81%		
評価	良い			良い	普通			
算出方法・設定根拠など		アンケート/再度の来館について (来たい+機会があれば来たい)						

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	ミュージアム・グッズの新規開発	個	9	15	9
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,761	4,103	2,643
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	417,889	273,533	293,667
備考(算出についての説明等)		新規グッズ製作費のみで算出				
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	満足した施設利用者の数(入館者数×満足度)	人	131,111	126,518	205,375
	②	上記①にかかる年間経費	千円	42,746	11,189	7,144
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	326	88	35
備考(算出についての説明等)		全体事業費÷(入館者数×満足度)で①を算定。				

#### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	令和元年度は大きな内容の業務はなかったが、ミュージアムグッズの作製をはじめ、予定通りに実施でき目標を達成できた。

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	博物館魅力向上事業	シート番号	008-064
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 堺の歴史・文化を発信する拠点施設として、その魅力を新たに発信していく当該事業を廃止することは難しく、他の事業との統合も含めて、改善の方法について検討する。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 堺の歴史・文化を発信する拠点施設として、その魅力を新たに発信していく当該事業を休止することは難しい。	<b>休止の場合の再開時期</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 博物館のリニューアルは令和2年度の単年度事業であるため、次年度以降のコストは縮減が可能である。ミュージアムグッズについては、ニーズの高まりもあり、商品開発等の手法を変更するなど、コスト縮減が図れないか検討を進める。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 業務上、その執行により社会経済活動の助力となるが、直接的な民間活動の変容とは関連しないため。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他(                      )	理由・説明	大学との連携によるミュージアムグッズの商品開発を検討するなど、コスト削減も視野に入れた魅力あるグッズ作製を検討する。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	博物館のリニューアルは、単年度事業であることから廃止し、ミュージアムグッズの製作については、「普及広報事業」に統合し、事業継続を行う。		